

■コメント

1. 後天性免疫不全症候群

8月24日(第34週)に1件の報告があり、今年の累計は18件(エイズ患者5件、HIV感染者13件)となりました。今年も昨年に引き続き多い状態が続いています。

2. 咽頭結膜熱

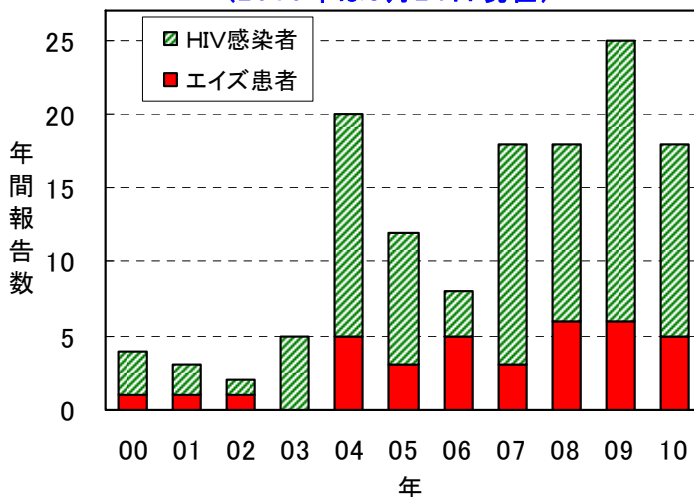
定点当たり0.75人と多い状態が続いています。中区2.3人、東区2.0人となっています。

3. 流行性耳下腺炎

定点当たり2.21人と多い状態が続いています。安芸区15.0人と特に多くなっています。

4. RSウイルス感染症

6人(定点当たり0.25人)報告されています。例年同時期と比べて多くなっています。

後天性免疫不全症候群の年間報告数
(2010年は8月24日現在)

■定点把握感染症報告状況(週報対象)

疾患名	報告数	定点 当り	平過 均去 (注 5年 間)	発生 記号	疾患名	報告数	定点 当り	平過 均去 (注 5年 間)	発生 記号
インフルエンザ	-	-	0.08		ヘルパンギーナ	8	0.33	1.33	↓
咽頭結膜熱	18	0.75	0.34	↗	流行性耳下腺炎	53	2.21	0.53	↑
A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	4	0.17	0.55		RSウイルス 感染症	6	0.25	0.02	
感染性胃腸炎	73	3.04	2.73	↗	急性出血性 結膜炎	-	-	-	
水痘	22	0.92	0.43	↗	流行性角結膜炎	8	1.00	0.95	
手足口病	16	0.67	0.67	↗	細菌性髄膜炎	-	-	0.09	
伝染性紅斑	7	0.29	0.11		無菌性髄膜炎	-	-	0.14	
突発性発しん	16	0.67	0.64		マイコプラズマ 肺炎	4	0.57	0.43	
百日咳	1	0.04	0.04		クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	-	-	-	

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↖	↙	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数 (小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当り)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累積	備考
2	結核	6	154	男性(50歳代)・1人、男性(70歳代)・2人、女性(70歳代)・1人、男性(80歳代)・1人、女性(80歳代)・1人

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

			インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	RSウイルス感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎
報告数	広島市	第29週	－	12	9	73	13	50	4	15	1	52	49	－	－	1	－	3	4	－
		第30週	－	16	4	81	22	35	5	14	2	42	58	1	－	8	1	－	－	－
		第31週	－	18	13	59	19	28	7	19	1	46	46	－	1	7	－	1	2	－
		第32週	3	20	2	48	13	20	2	15	3	16	25	2	－	6	－	－	2	－
		第33週	－	18	4	73	22	16	7	16	1	8	53	6	－	8	－	－	4	－
定点当り	広島市	第29週	－	0.52	0.39	3.17	0.57	2.17	0.17	0.65	0.04	2.26	2.13	－	－	0.13	－	0.43	0.57	－
		第30週	－	0.70	0.17	3.52	0.96	1.52	0.22	0.61	0.09	1.83	2.52	0.04	－	1.00	0.14	－	－	－
		第31週	－	0.75	0.54	2.46	0.79	1.17	0.29	0.79	0.04	1.92	1.92	－	0.13	0.88	－	0.14	0.29	－
		第32週	0.08	0.83	0.08	2.00	0.54	0.83	0.08	0.63	0.13	0.67	1.04	0.08	－	0.75	－	－	0.29	－
		第33週	－	0.75	0.17	3.04	0.92	0.67	0.29	0.67	0.04	0.33	2.21	0.25	－	1.00	－	－	0.57	－
	全国	第31週	0.03	0.29	0.61	2.89	0.76	2.38	0.37	0.71	0.05	2.89	1.28	0.07	0.02	0.73	0.01	0.04	0.35	0.04
		第32週	0.04	0.27	0.46	2.40	0.71	1.62	0.26	0.56	0.03	1.88	1.13	0.07	0.02	0.62	0.02	0.07	0.34	0.04

■新たに判明した病原体検出状況

診断名	患者年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
流行性耳下腺炎	6	女	2010/03/07	咽頭拭い液	ムンプスウイルス
流行性耳下腺炎	6	男	2010/05/25	髄液	ムンプスウイルス

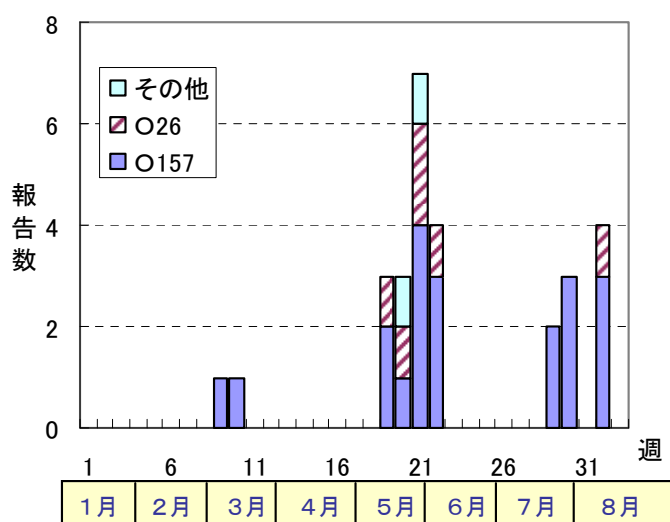
* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

■広島市における腸管出血性大腸菌感染症報告数

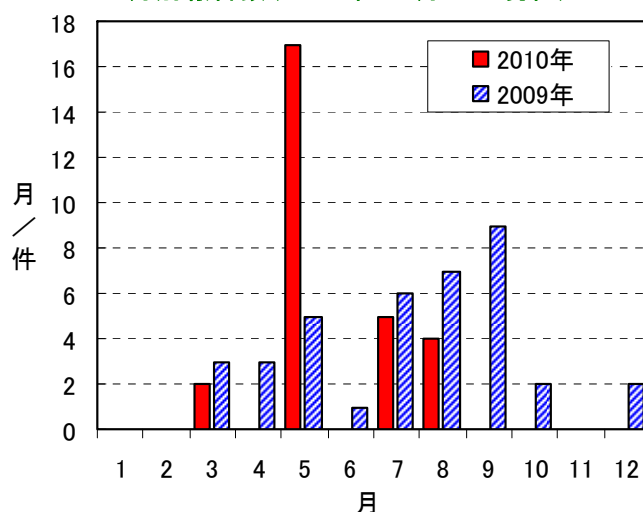
8月に4件の報告があり、今年の累計は28件となりました(8月22日現在)。そのうち12件(43%)は無症状病原体保有者です。症状がなくても人に感染させるおそれがあります。

例年、気温が高い5月から10月ごろにかけて多発する傾向にあるので、今後とも注意が必要です。

型別報告数(2010年8月22日現在)



月別報告数(2010年は8月22日現在)



本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページをご覧ください。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/shakai/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.jp

2010年第33週(8月16日～8月22日)